

# 馬場校下 防災ガイド

平成27年11月17日  
馬場校下自主防災会  
防災委員会

各種マニュアルとして発行及び取り決めが成されています。

馬場校下自主防災会防災委員会としても、地元にあった、防災のマニュアルを作成し、広く町民に周知して頂く責務があると考えます。

そこで、試案を作成しました、検討よろしくお願い致します。

## 災害の種類

	種類	2次的災害	3次的災害	突発性		
1	地震	津波		○	津波情報	
2	集中豪雨	崖崩れ	土砂災害		台風・梅雨前線・秋雨前線	
		地すべり	鉄砲水		地すべり注意報	
		内水氾濫			降水注意報	
		外水氾濫			河川水位情報	
3	大雪	雪崩			大雪注意報	
4	大風			△	台風・竜巻情報	
5	火山	溶岩流	土砂災害	△		

馬場校下の皆さんには日頃より、防災意識をもって頂き有難う御座います。

「一人は皆のために、皆は一人の為に」そのような地域づくりをめざし、防災に減災に取り組んでいこうと、心新たに邁進していきましょう。

## 馬場校下における災害予測

1) 地震 全域 森本富樫断層は気にしないで良い。

2) 内水氾濫・外水氾濫 馬場手側

外水氾濫：河川堤防が決壊して河川水が、市内に流れ込む氾濫濁流水で、復旧が長期化する

内水氾濫：河川の堤防内側(川の流れているのが、堤外)で雨水の排水できなくなって、水害が起こる事

集中豪雨の場合、道路排水は300mm/1時間 ~500mm/1時間で

側溝はあふれます：雨量を受けきれない。

下水道配管での排水が追い付かない状況になる。

☆ 道路上にあふれ、低地へ水が流れ出す。

大雨注意報→警報に変わったら、大切なものは、2階へ移動

防災情報放送が聞き取れない！ そんな時

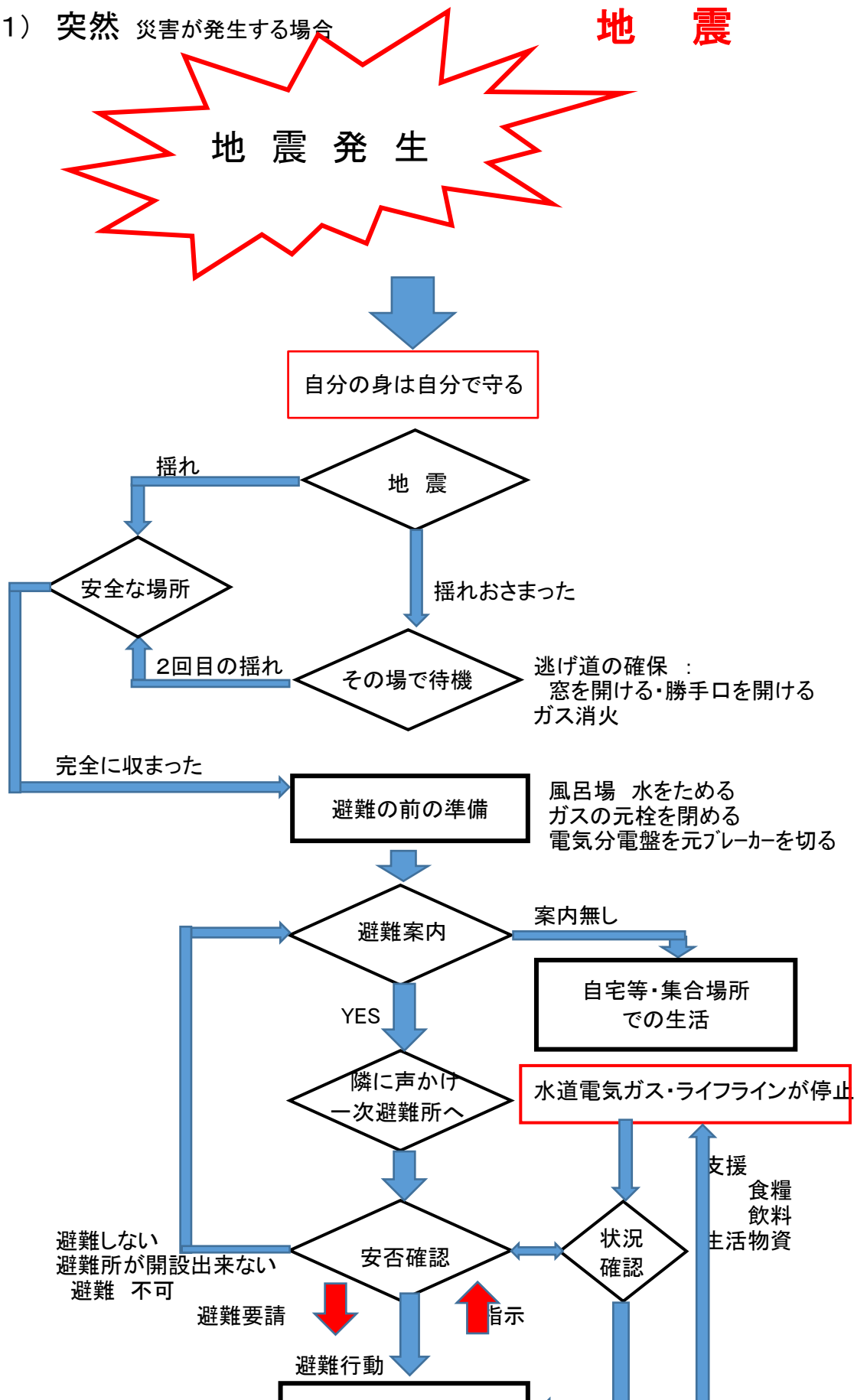
災害情報電話案内サービスで、確認が取れます

**電話番号： 0180-99-7171**

3) 大火災	大風で、あおられた火災「振り袖火事」 地震の時に発生した火災「関東大震災火災」
4) 台風	全域 大風・山風が発生 : 出火には注意 大雨 : 崖崩れ・内水氾濫には注意
5) がけ崩れ	山手側 長雨のあとの、集中豪雨で地盤が緩み、雨水を保水出来ない状態 がけ地危険区域の方は、がけの反対側の2階で就寝することを進める 大雨注意報→警報に変わったら、大切なものは、2階へ移動 町会全体ではない : 避難所開設はしない。 自主避難場所として、公民館を指定する。 特定の家族となると思われる。 公民館へ避難するか、親戚友人宅への避難: 日頃の付き合いが大切 <b>町会独自の集会場所を設定運営する。(将来構想)</b>
対象予想町会	子来町・卯辰町・辰和会
	矢ノ根川・水ノ谷川 左岸の土石崩落 矢ノ根川右岸の崩落 : 雨水の濁り監視
	<b>崖崩落の監視をどうするか。</b> 雨水の濁りの監視 ☆ 山手側では、辰和会と子来町に情報端末が設置 警報・避難の指示をどうするか。検討を要する。
6) 土石流災害	矢ノ根川・水ノ谷川 の下手町会
対象予想町会	八幡町・木町・上小川町・下小川町
	矢ノ根川・水ノ谷川で地すべり等が発生し、さらに集中豪雨があった場合 川を堰き止めた、土砂が土石流となり下流へ押し流される。 矢ノ根川 : 宇多須神社横から、浅ノ川放水門(梅の橋下)が暗渠と なっていて、道路を土砂が流れる可能性がある 木町方面への暗渠 浅野川大橋下流への暗渠と接続 水ノ谷川 : 東山2丁目緑地から浅ノ川大橋下放水門まで暗渠 上小川町から下小川町にかけて、土石が流れる可能性がある

1) 突然 災害が発生する場合

# 地震



## 2) 災害発生を予測できる場合

**内水氾濫** 日頃より被害想定を行うことが、肝要です。

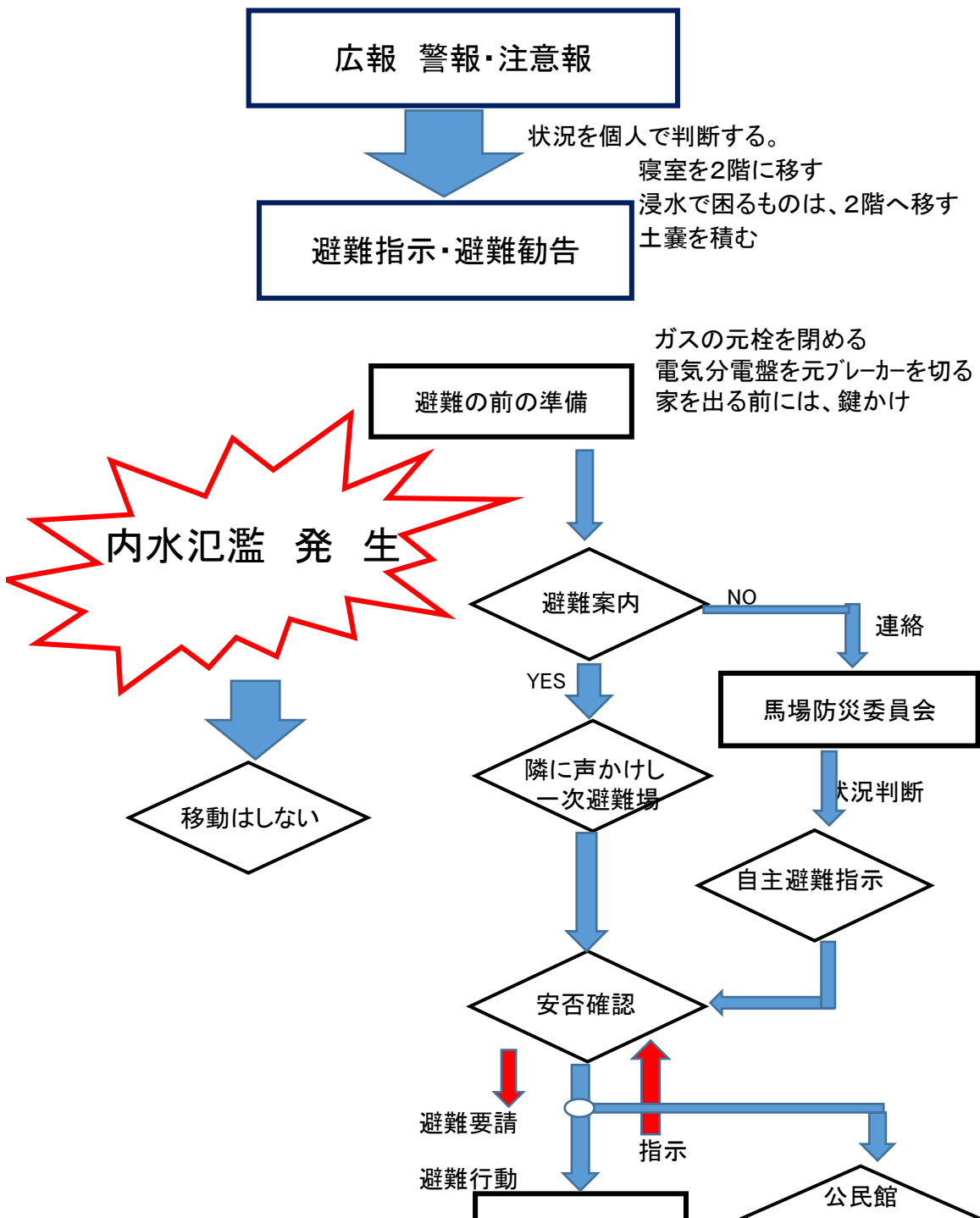
外水氾濫 : 浅ノ川は大橋以降氾濫した場合、道路を流れる。

大橋上流で土手決壊した場合、道路上最高深さ3mにはなる。

矢ノ根川の水量も、梅の橋下流へ流入 1000×1200mm暗渠

馬場手側

内水氾濫 馬場手側 下水道暗渠にて排水。許容がオーバーすると内水氾濫となる



2-2) 災害発生を予測できる場合

崖崩れ 湧水・雨水の監視

山手側

広報 警報・注意報

子来町・辰和会情報端末設置

危険地区住民に周知

状況を個人で判断する。  
寝室を2階に移す  
崩落で困るものは、2階へ移す

監視 及び待機

避難の前の準備

ガスの元栓を閉める  
電気分電盤を元ブレーカーを切る  
家を出る前には、鍵かけ

崖地崩落

避難案内

NO

YES

馬場防災委員会

状況判断

逃避する

自主避難

自主避難指示

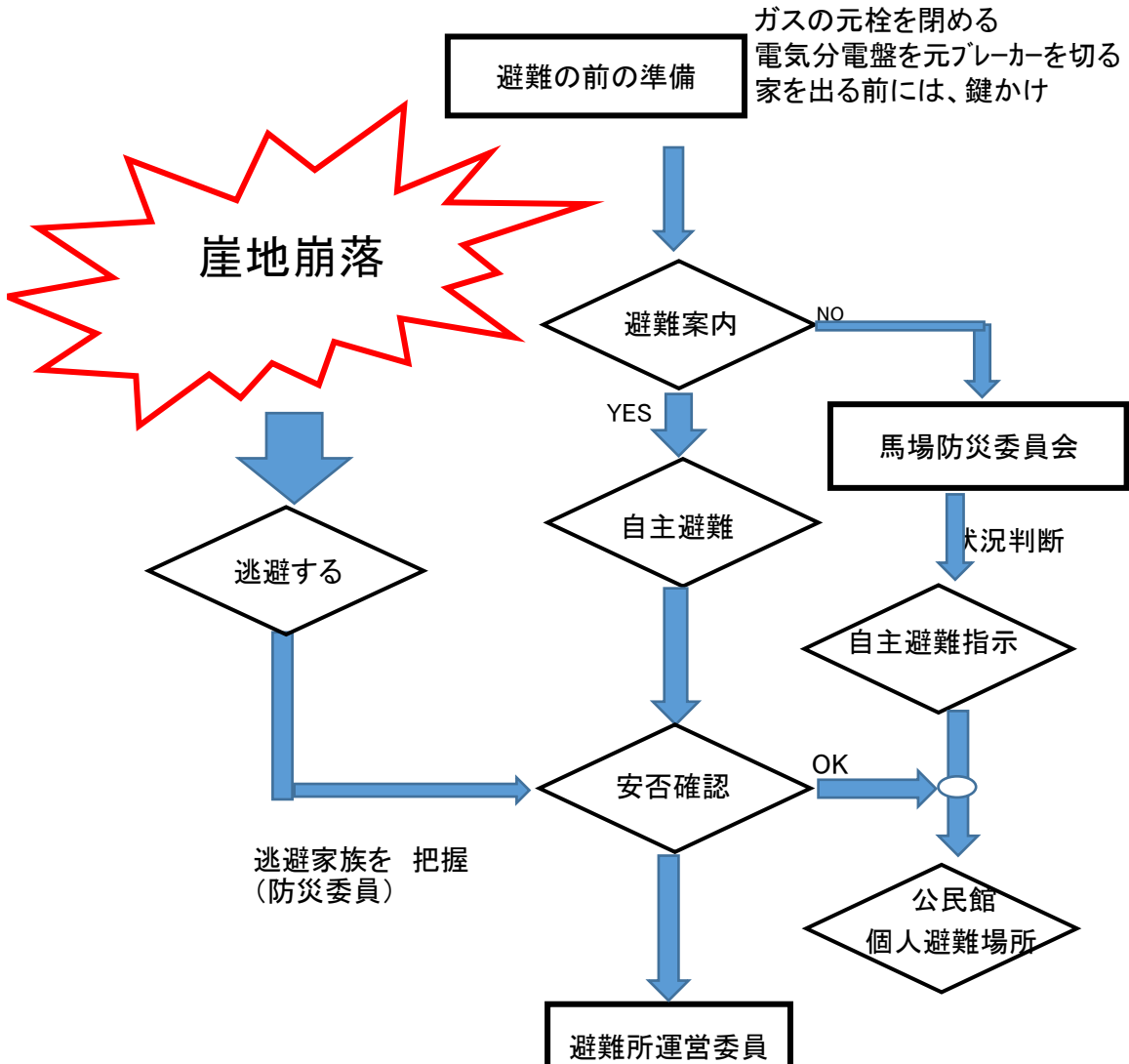
安否確認

OK

逃避家族を把握  
(防災委員)

公民館  
個人避難場所

避難所運営委員



2-3) 災害発生を予測できる場合

土石流 崖崩落及び河川の監視

河川下手

広報 警報・注意報



子来町・辰和会情報端末設置

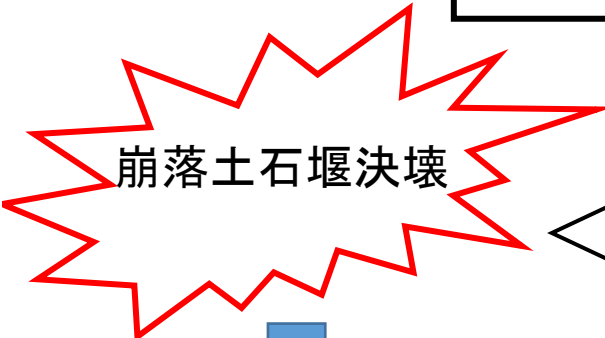
河川監視

状況を個人で判断する。  
土囊積  
濁流・鉄砲水

矢ノ根川 消防士  
水ノ谷川 防災士

避難の前の準備

ガスの元栓を閉める  
電気分電盤を元ブレーカーを切る  
家を出る前には、鍵かけ



崩落土石堰決壊



自宅待機

逃避家族を把握  
(防災委員)

避難案内

NO

YES

自主避難

馬場防災委員会

状況判断

自主避難指示

安否確認

OK

公民館  
個人避難場所

避難所運営委員